

平成 2 7 年 7 月 2 3 日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

## 報告事項

番号	件 名	主 管 課
1	平成28年度（2016年度）山口県公立学校教員採用候補者選考試験（第一次試験）の受験状況について	教 職 員 課
2	主権者教育について	高 校 教 育 課
3	世界遺産の登録について	社会教育・文化財課

# 報告事項 1

## 平成28年度(2016年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験(第一次試験)について

### 1 期日・会場

期日：7月18日(土)、19日(日)

会場：山口県立山口高等学校、山口県立山口中央高等学校、山口県立西京高等学校、  
國學院大學たまプラーザキャンパス

### 2 試験内容

- ・教職専門、教科専門、集団面接、実技(中学校、高等学校等の実技を要する教科・科目)等

### 3 受験状況

(1) 全体の受験状況		( )は昨年度
・採用見込者数(A)	415 人	(398人)
・採用選考試験志願者数(B)	1,580 人	(1,599人)
・第一次試験免除者数(C) (※)	162 人	(165人)
・第一次試験欠席者数(D)	105 人	(100人)
・第一次試験受験者数(E = B - C - D)	1,313 人	(1,334人)
・採用選考試験受験者数(E + C)	1,475 人	(1,499人)

※前年度採用選考試験第二次試験の総合評価ランクがA又はBの者及び他県における本採用教員で、平成27年3月31日現在、3年以上の勤務経験(志願区分(校種等)の教科と同一の勤務経験)を有する者については、第一次試験を免除している。

### (2) 選考区分・志願区分別受験状況

別紙受験状況資料のとおり

### 4 第一次試験結果の発表及び試験問題・解答例の公開

#### (1) 第一次試験結果の発表

試験の結果は、8月11日(火)に通知文書を本人に発送するとともに、合格者の受験番号を山口県庁インフォメーションプラザに掲示し、山口県教育委員会のホームページにも掲載する。

#### (2) 試験問題・解答例の公開

期日：7月28日(火)

場所：情報公開センター、地方県民相談室

### 5 第二次試験

期日：(小 学 校) 8月22日(土)～26日(水)

(上記以外の校種等) 8月22日(土)～23日(日)

場所：山口県立山口高等学校、山口県立山口中央高等学校、山口県立西京高等学校  
山口県立山口農業高等学校

試験内容：適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、  
音楽実技・体育実技(小学校及び特別支援学校小学部)

## 平成28年度(2016年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験(第一次試験)の受験状況資料

## (1) 選考区分・志願区分別受験状況

( )は昨年度

選考区分・志願区分	採用見込者数 (A)	志願者数 (B)	第一次試験 免除者数 (C)	欠席者数 (D)	第一次試験 受験者数 (E)	採用選考試験 受験者数 (第一次試験受験者+ 第一次試験免除者) (E+C)	採用選考試験 倍率 ((E+C)/A)	
一般選考・特別選考	小学校	201 (200)	460 (459)	38 (41)	29 (25)	393 (393)	431 (434)	2.1 (2.2)
	中学校	96 (94)	480 (500)	51 (64)	30 (33)	399 (403)	450 (467)	4.7 (5.0)
	高等学校	75 (62)	478 (480)	55 (48)	37 (36)	386 (396)	441 (444)	5.9 (7.2)
	計	372 (356)	1,418 (1,439)	144 (153)	96 (94)	1,178 (1,192)	1,322 (1,345)	3.6 (3.8)
	特別支援学校小学部	4 (4)	23 (20)	1 (1)	2 (0)	20 (19)	21 (20)	5.3 (5.0)
	特別支援学校中学部	4 (4)	15 (17)	3 (4)	0 (0)	12 (13)	15 (17)	3.8 (4.3)
	特別支援学校高等部	4 (5)	19 (19)	3 (2)	1 (0)	15 (17)	18 (19)	4.5 (3.8)
	計	12 (13)	57 (56)	7 (7)	3 (0)	47 (49)	54 (56)	4.5 (4.3)
	養護教諭	22 (21)	102 (103)	10 (5)	6 (6)	86 (92)	96 (97)	4.4 (4.6)
合計	406 (390)	1,577 (1,598)	161 (165)	105 (100)	1,311 (1,333)	1,472 (1,498)	3.6 (3.8)	
身体障害者を対象とした選考	9 (8)	3 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	3 (1)	0.3 (0.1)	
身体障害者を対象とした選考を含めた合計	415 (398)	1,580 (1,599)	162 (165)	105 (100)	1,313 (1,334)	1,475 (1,499)	3.6 (3.8)	

## (2) 特別選考の受験状況(1の内数)

( )は昨年度

志願区分	社会人特別選考				スポーツ・芸術特別選考			
	志願者数	第一次試験 免除者数	欠席者数	第一次試験 受験者数	志願者数	第一次試験 免除者数	欠席者数	第一次試験 受験者数
小学校	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)				
中学校	11 (6)	0 (0)	0 (1)	11 (5)	9 (6)	2 (0)	0 (0)	7 (6)
高等学校	5 (5)	0 (0)	2 (1)	3 (4)	15 (10)	0 (1)	0 (2)	15 (7)
合計	16 (12)	0 (0)	2 (2)	14 (10)	24 (16)	2 (1)	0 (2)	22 (13)

志願区分	山口県教師力向上プログラム修了者特別選考			
	志願者数	第一次試験 免除者数	欠席者数	第一次試験 受験者数
小学校	27 -	0 -	0 -	27 -
合計	27 -	0 -	0 -	27 -

志願区分	看護科教諭特別選考				博士号取得者特別選考			
	志願者数	第一次試験 免除者数	欠席者数	第一次試験 受験者数	志願者数	第一次試験 免除者数	欠席者数	第一次試験 受験者数
高等学校	3 (2)	1 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (3)
合計	3 (2)	1 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (3)

## 報告事項2

### 主権者教育について

- 1 日 時 平成27年6月24日（水）
- 2 対象生徒 県立柳井高等学校2年1組生徒32名
- 3 科目名・単元名  
現代社会 （2）現代社会と人間としての在り方生き方  
イ 現代の民主政治と政治参加の意義  
「平和主義と我が国の安全」
- 4 本時のテーマ 「安保法制を題材とした主権者教育」
- 5 授業のねらい
  - グループワークを通して、思考力・判断力など、自らの考えを深める力を培う。
  - グループでの発表や全体での発表を通して、表現力を身に付ける。
  - 公職選挙法の改正に伴い、高校生の主権者意識を高める。
- 6 授業の内容（展開）
  - 各自がまとめた自分の考えを持ち寄り、グループワークを行う。
    - ① 前時に書いた自分の考えをグループ（4名×8グループ）内で発表
    - ② 各自が発表した内容を基にして、グループの意見のまとめ
    - ③ 各グループの代表がクラス全体に対して発表
    - ④ 各グループの代表の発表を聞き、最も説得力のある発表に対して投票
- 7 県議会での主な質疑
  - 本会議での質問に対して教育長が答弁
    - ・ （柳井高校の事例は）議論や発表を中心として授業を展開し、生徒の社会的事象への興味・関心を高める目的で実施したもの
    - ・ そのテーマの全体像や様々な背景を生徒に理解させるための多様な資料の提供ができていなかったことや、説得力のある発表に投票させたことが、結果的に賛否を問う形になってしまったこと、学校としての指導方針が明確になっていなかったことなどから、配慮が不足
    - ・ 県教委としても、選挙権年齢の引き下げに伴い、早急に主権者教育の充実を図っていく必要がある中で、主権者教育の進め方について、学校に対する指導が不十分
    - ・ 積極的に主権者教育を進めるために、学校任せにするのではなく、県教委が責任をもって新たな指針を示す。また、教職員研修等を通じて指導を図る。
  - 文教警察委員会での質問に対して高校教育課長が答弁
    - ・ 主権者としての資質能力を高めるためには、高校生の社会参加意識を喚起することが重要であることから、選挙管理委員会との連携による出前授業の実施や、ボランティア活動などの社会体験活動等を充実させていく。
- 8 今後の対応
  - 積極的に主権者教育を進めるために、国の動向を踏まえて新たな指針を作成
  - 教職員研修等を通じた指導の充実

『明治日本の産業革命遺産』

# 2015年 世界遺産へ登録!!

8県11市の23遺産がユネスコ世界文化遺産に登録されました。

19世紀後半から20世紀の初頭にかけて製鉄・製鋼、造船、石炭産業といった重工業において、日本は急速な産業化を成し遂げた。  
『明治日本の急速な産業の近代化』  
そのストーリーは、ここ山口県萩市から始まった・・・



萩反射炉



萩城下町

ロンドンで撮影された「長州ファイブ」(萩博物館所蔵)



恵美須ヶ鼻造船所跡



松下村塾



大板山たたら製鉄遺跡

ファイブ

# 山口県萩市の5資産

# 山口県(萩市)の構成資産

山口県(萩市)の構成資産は次の5つです。

## 萩反射炉 (製鉄・製鋼)

〒758-0011 山口県萩市大字椿東4897-7



西洋式の鉄製大砲鑄造を目指した萩(長州)藩が、1856年に建設した反射炉の遺跡。萩(長州)藩から佐賀藩に派遣された大工棟梁が持ち帰った反射炉の見取図を基に、試作的に建設された。

## 恵美須ヶ鼻造船所跡 (造船)

〒758-0011 山口県萩市大字椿東5159-14



幕府の要請や木戸孝允の意見により、萩(長州)藩が設けた造船所の遺跡。藩は、伊豆の戸田村や長崎海軍伝習所に船大工ら技術者を派遣し、西洋技術の情報を得て伝統的な和船の建造技術を使って、2隻の西洋式帆船を建造した。



## 大板山たたら製鉄遺跡 (製鉄・製鋼)

〒758-0501 山口県萩市大字紫福257-5(山地番)

日本の伝統的な製鉄方法であるたたら製鉄の遺跡。萩(長州)藩が西洋式帆船「丙辰丸」を建造する際に用いた船釘などの原料鉄を供給しており、幕末の西洋式帆船建造に当時の日本の在来技術が利用されたことを示している。



## 萩城下町 (当時の時代背景)

〒758-0057 山口県萩市大字堀内1

毛利輝元が建設した萩(長州)藩の政治・行政の中心であった萩城の跡(城跡)、藩の産業化や技術獲得などの政策を遂行した、身分が高い武士の屋敷等があった旧上級武家地、当時の経済的な様相を現在に伝えている旧町人地の3つの区域によって構成される。



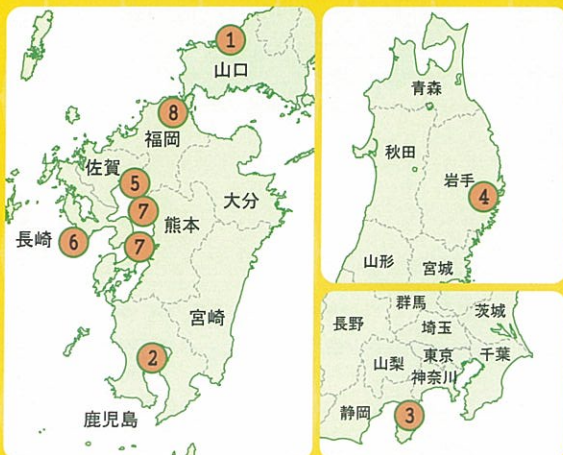
## 松下村塾 (人材育成)

〒758-0011 山口県萩市大字椿東1537-1

萩(長州)藩の兵学者吉田松陰が主宰した私塾。吉田松陰は実家の杉家に謹慎していた1856年から門人への指導を開始し、1857年に現存する塾舎に移った。1858年に閉鎖されるまでの約2年10ヶ月の間に約90名の門人に指導を行った。

## 明治日本の産業革命遺産 ～製鉄・製鋼、造船、石炭産業～

## 8県11市23構成資産MAP



- 山口県萩市  
萩反射炉  
恵美須ヶ鼻造船所跡  
大板山たたら製鉄遺跡  
萩城下町  
松下村塾
- 鹿児島県鹿児島市  
旧集成館  
寺山炭窯跡  
関吉の疎水溝  
旧集成館機械工場  
旧鹿児島紡績所技師館
- 静岡県伊豆の国市  
韮山反射炉
- 岩手県釜石市  
橋野高炉跡および関連遺跡
- 佐賀県佐賀市  
三重津海軍所跡
- 長崎県長崎市  
小菅修船場跡  
長崎造船所 第三船渠  
長崎造船所 ジャイアント・カンチレバークレーン  
長崎造船所 旧木型場  
長崎造船所 占勝閣  
高島炭坑  
端島炭坑  
旧グラバー住宅
- 福岡県大牟田市  
熊本県荒尾市  
三池炭鉱 宮原坑  
三池炭鉱 万田坑  
三池炭鉱専用鉄道敷設  
三池港  
熊本県宇城市  
三角西(旧)港
- 福岡県北九州市・中間市  
八幡製鐵所 旧本事務所  
八幡製鐵所 修繕工場  
八幡製鐵所 旧鍛冶工場  
八幡製鐵所 遠賀川水源地  
ポンプ室